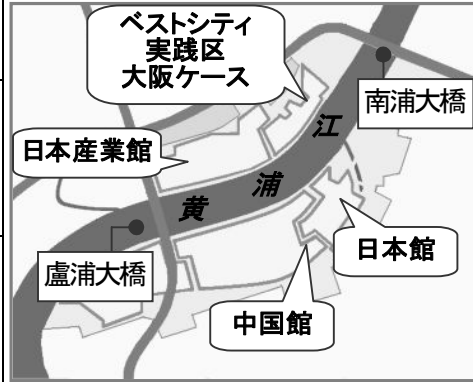


## 2010 年上海万国博覧会(その2)

中国で初めての万国博覧会は 2010 年 5 月 1 日から 10 月 31 日までの期間で上海で始まりました。2010 年 4 月 28 日の発表で 246 の国・国際機関からの出展が決まり、入場者数は過去最大の 7,000 万人を予想しています。日本からの出展は外国国家館（日本館）、企業館（日本産業館）、ベストシティ実践区（大阪ケース）の三つに分かれています。今回は、平成 21 年 6 月 22 日付アジアニュース「2010 年上海万国博覧会(その 1)」に続き、上海万博における日本関連の出展状況ならびに、日本企業の参加状況についてご紹介いたします。

### 1、日本関連の出展状況(展示館の概要)

<p>日本館 愛称:「かいこじま」(中国語:紫蚕島)</p>	<p>【テーマ】心の和、技の和 海外で開催された万博の日本のパビリオンでは最大規模。建物はエココントロールなど最新技術を生かしたもの。</p>	<p>上海万博会場地図 (上海駐在員事務所が作成)</p> 
<p>日本産業館</p>	<p>【テーマ】日本が創るより良い暮らし 堺屋太一氏が総合プロデューサーを務める日本企業・地方自治体の連合館。旧江南造船所の古い工場を再利用した展示館。</p>	
<p>ベストシティ実践区 大阪ケース</p>	<p>【テーマ】環境先進都市 水都大阪の挑戦 大阪府、大阪市の共同出展。水処理技術などをアピールする。</p>	

### 2、日本企業の参加状況

中国での知名度を向上させ、業務拡大につながるビジネスチャンスとして、数多くの日本企業が上海万博に参加します。日本企業の上海万博各関連分野への参加状況は以下の通りです。

<p>上海世博のプロジェクトスポンサー</p>	<p>資生堂。</p>
<p>「日本館」のスポンサー</p>	<p>キャノン、トヨタ自動車、パナソニック、三菱グループ、イオン、日本貿易会・日本鉄鋼連盟など有名企業・団体がスポンサーとなり、日本政府と共同で予算を負担する。</p>
<p>「日本産業館」への出展</p>	<p>INAX、大塚製薬、キッコーマン、帝人グループ、テルモ、トステム、日本郵政グループ、ユニ・チャーム、静岡県、横浜市などが出展・参加する。</p>
<p>建築・展示関連</p>	<p>太陽工業、コングレなどの日系現地子会社が建築、展示関連などの万博ビジネスに参入。</p>
<p>入場券販売代理</p>	<p>JTB は日本国内の指定入場券販売代理店。</p>
<p>会場内飲食店</p>	<p>牛井チェーンの吉野家、堂島ロールのモンシュシュ、アサヒビールなどが出店する。</p>

万博期間中、6 月 12 日に「ジャパン・デイ」、その後 1 週間は「ジャパン・ウィーク」が設けられます。この期間中、伝統芸能などを始めとした日本関連のイベントが開催される予定です。

出典：上海世博「日本館・日本産業館」及びスポンサー出展企業各社ホームページ、時事速報等

照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-6704-2723  
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に關しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 \*禁無断転載